中山五月台小学校と中山桜台小学校の学校統合等

に関する説明会における意見等の概要

日時　　平成３０年（２０１８年）３月１７日（土）
午前１０時００分～１２時００分

場所　　中山台コミュニティセンター　３階　ホール

|  |
| --- |
| ①　説明を聞いていると統合する方向で決まっていると受け取った。仮に統合した場合、中山五月台小学校はしばらくは残るのか。上級生は残して、下級生は中山桜台小学校へ段階的に行く形は取れないのか。 |

説明会で出た皆さまのご意見については、中山台地区教育環境適正化検討委員会で再検討しました。

もう一度最初に戻った方が良いのか、それともこのまま統合に向かって進んでいく方が良いのか再検討しました。

それでもやっぱり統合が考えうるより良い方法ではないかということで、皆さまに説明をさせていただこうということなりました。

具体的にどう統合していくのかは、これから検討します。統合すると決まってもいないのに、今後のタイムスケジュールを考えていくのは、皆様に対して、大変不誠実だと思っております。まずは統合を皆様にご理解いただいた上で、今後のことは検討するべきだと感じておりましたので、そのことについてはまだ検討しておりません。

|  |
| --- |
| ②　ここには学校長がいないが、現場の意見や答えを聞きたかった。 |

まだ学校統合は、正式に決まったものではございませんが、今後、子どもの不安、いじめが心配だというご意見もありますので、それは学校だけに任せるのではなくて、教育委員会もしっかり子どもたちの見守りをしていかなければならないと思います。

学校長をはじめとする、先生方のご意見も大変重要だと思います。

大規模校から中山五月台小学校に転勤してきた先生は、大きな学校ではできなかったことが、小さな学校ではできるようになったので、小規模校が全て悪いわけではないですという意見もありました。

また、現状は空き教室を色々な形で使用しているが、子どもがいっぱいになってくると、教室使用に制限がかかってくるので、何らかの工夫が必要だという風には我々も感じていますので、そういった意見交換は今後もしていきたいと思います。

なお、本日この場には、学校長は来ておりませんが、中山台地区教育環境適正化検討委員会の中には常に参加しています。座長の方からも話がありましたように、統合が決まれば、子どもたちの教育活動、通学路、施設、具体的な検討を専門部会的なものを立ち上げて詳細な詰めをしていくということになります。

|  |
| --- |
| ③　統合というのは、合併吸収なのか。それとも対等の統合を考えているのか。 |

統合にも色々な形があります。対象となっている２校を廃校し、１校新しい学校を作るという考え方や、どちらか一方に統合する方法があります。２校とも学校を廃校し、新しい敷地に１校新しい学校を建てる方法もありますが、宝塚市の厳しい財政状況の中では困難であると思います。統合の仕方は、吸収になるのか、２校を廃校にして、１校にするのかは方向性が決まれば具体的に検討していきたいと思いますので、今ここで何か決まっているというものではございません。

|  |
| --- |
| ④　新しい学校を作るというのは、財政的に厳しいというのはわかりますが、前回の説明会でのお話しでは、古い学校の敷地を売却して、新しい学校の建設資金にすると。そして調べてみました。それはドーナッツ現象を起こした市街地に多いのです。過疎地においては売れていないです。今回、新しい学校を作るというのは財政的な面だけでカットされているのですか？それからもう１点。事務局側からの説明の中で、中山桜台小学校と統合すれば、いじめの問題等もクラス替えによって解決できる説明があった。これは非常に間違いです。少人数でこそ、じっくり関わって解決していけることもあるのです。決してそれがメリットになっているとは思わない。表面に表れていることは、自殺した子どもの話とかいじめの深刻さは大きな学校の方がはるかに多いのです。見えない部分に関しては学校で努力してなくしている。本当に解決していっている方がはるかに多い。だからあの例はちょっと問題だなと思いました。事務局にお伺いしたいです。少人数によって、中山五月台小学校の学力が上がってきている。指導の細かいところがどうなっているのかお聞きしたい。　もう１点は、学校教育課が出てこないのはなぜですか？こういう時にこそ、指導に関してメリット、デメリットを具体的に述べられる部門が出てきて説明すべきでは？も教育の中身になった時に、あなたたちは行政マンでしょ。聞いてもらってどういう風に返していくかということは必要だと思います。その辺は意見として述べさせていただきます。 |

ありがとうございます。新しい学校を建てるということは、財政面が非常にウエイトを占めております。また、新しい学校を建てる場合、十分な敷地も必要となります。あと、前回の説明会の中での小規模校のいじめの問題ですが、私の説明が不十分で申し訳ございませんでした。

決して小規模校だからいじめが多いとかいうわけではありません。いじめではなくても、性格的に少し合わない子が、６年間、同じクラスで付き合っていかなければならない現状があります。それがクラス替えが出来れば、自分と同じ趣味の友達とかも学年が変わった時に出来るようになります。次の年にはクラス替えで全く違う環境で過ごすことができる、そうした教育環境を保てるという意味合いでした。すみませんでした。

次に、中山五月台小学校の学力の件ですが、全国学力学習状況調査の結果を見られてお聞きになられているのではないかと思いますが、学校規模によって学力との相関関係は分かっていません。少人数の学校においても、教科の知識の習得だけではなく、宝塚市が目指している生き抜く力を育んでいく必要がある。その為には、一定の規模の学校が望ましいという考え方を持っております。ですから、少人数の学校で学力が伸びていくということは、先生方の一番の努力でないかなと思っております。お答えになっているかわかりませんが、以上です。

次に、学校教育部からの本説明会の出席についてですが、私たちは管理部ということで、教師経験がないです。教師出身学校教育部です。学校教育部長や学校教育課長が同席して説明すれば、我々が説明するより、わかりやすく説明ができるのではないかというご意見ですが、確かにそうです。ただ教育委員会の中では、学校教育部と管理部でこの問題に関しては頻繁に協議して意見をまとめています。

我々も今回、同席してもらう方向で検討はしましたが、学校教育部の中で学校の卒業式シーズンを迎えたり、その支援に回ったりしておりますので、多忙な日々を送っています。負担も軽減しないといけないということもありまして、今日は参加しておりません。ただ、中山台地区教育環境適正化検討委員会では、学校教育室長や学校教育課長も出てきて、皆さまのご意見も聞かせていただいたり、学校現場の実情も含めて、そこでは説明させていただいております。今後の説明会につきましては、時間が合えば、そうした学校現場から来ている教育委員会の職員も同席させていただいて、しっかりと説明をさせていただきたいと思います。

|  |
| --- |
| ⑤　中山桜台小学校によく出入りします。体育館は他校の方が綺麗だと思う。中山五月台中学校の音楽会で体育館を見たら綺麗だった。聞くところによると、中学校はクラブ活動があり、掃除が行き届いているとか。たしかに中山桜台小学校の体育館の使用頻度は少ない。体育館も保護者に使わせたら良いのではないか。ある程度使用した方が綺麗な状態を保てる。また、冷暖房設備も考えていただきたいと思う。それから№156の宝塚を留学先にしてはどうかという意見ですが、市全体として考えて、そうすると今の世の中、交流とかも増えたりして広がりがあるのかなと思いました。 |

学校施設につきましては、非常に老朽化が進んでいますが、学校では耐震補強を精力的に進め、国が目標とした平成27年度に全て耐震補強工事を終えました。

その後は、古くなった校舎、体育館の改修工事を進めています。改修が終わった中山五月台中学校と中山桜台小学校を比べられると違いがあると思います。順次、取り組んでいる状況です。体育館に冷暖房設備を導入する意見ですが、これにつきましても、学校の体育館が指定避難所ということで、避難していただくときに体育館を使っていただく状況から、そういう意見は多くの方からいただいております。ただ子どもたちが常にいる校舎のほうの冷暖房設備も老朽化が進んでいて、そちらの方をまず優先して改修工事に取りかかっている状況ですので、今しばらく時間がかかるかと思います。

次に留学の件ですが、ここでは種子島宇宙留学ように宝塚を留学先にされてはいかがですかということですが、義務教育での留学はあまりないのですが、ただ、ここをしっかりと受け止めるのであれば、宝塚市としてこの中山台地区で教育環境をしっかり整えて、更には次の段階の魅力のある教育環境にして、出て行かれた方が戻ってくる、あるいはどこに住もうかと考えている方が、ここを教育の場として、子育ての場として、選んでいただけるような、そんな教育環境を作っていかなければならないと思います。

|  |
| --- |
| ⑥　検討委員会を６回くらい持たれたと言われていましたが、その間に各小学校の親御さんとか子どもたちの意見は拾いましたか？ |

全ての保護者から意見を聞いた訳ではありませんが、１０月、１１月にはそれぞれのＰＴＡには統合と小中一貫の概要（一般論）は説明させていただいて、意見交換等をしました。この６回の会議の中で広く保護者や子どもの意見を聞くという機会はございませんでした。そういうこともあって、検討委員会の中だけで話を進めるべきではない、しっかりと地域や保護者に説明をして、意見を聞こうということで、この２月に小学校２校と幼稚園で説明会をして、ご意見を聴く会を持ったということです。

|  |
| --- |
| ⑦　それは子どもたちも出ましたか？どのような意見を持っている子どもたちがいるのか一度聞いてみてもいいのではないかと思いました。それと、この前、使われなくなった小学校の施設は閉鎖する方向が高いようなことをおっしゃられていたので、これは決まっていないと言われつつも、決まっているものと感じています。色々な方が体育館、運動場を利用していて、中山桜台小学校も中山五月台小学校もそれぞれの団体が使っているのですが、ある時突然決まってしまって意見が通らないという風にはしたくないです。それはなぜかというと６回重ねて、７回重ねてとおっしゃられるのですけれども、本当に皆さんに伝わっているのか。最近バタバタと伝わってきたという感じがします。自治会からもＰＴＡからも出ていましたが、その詳細が親御さんにも自治会にもあまり伝わっていなくて、こうした委員会があるのさえも伝わってない状態です。大事なことなので、もう少し地域を巻き込んで、統合のことだけではないので、このニュータウンがダメになるようなことは、中山五月台幼稚園もなくなって、長尾幼稚園と統合するという話が出ていますが、バスがどうなるかという決まったことも伝えられていなくて、不安で仕方がないということも聞きます。もう決まったということで話が下りてくるのだけは避けてほしいなと思います。 |

前回の第６回目の中山台地区教育環境適正化検討委員会で出た意見が、やはりそれぞれの所属するところに経過をしっかりと説明をしきれていなかったというところが一番の大きな反省だというところで、それが初めてわかりました。特にＰＴＡの方が統一した文書で出してもらわないと、それぞれがそれぞれの考えの基に発言してしまうと、その発言がどんどん違う方向に理解をされて、違う結果として伝わるのが怖いので、なかなか情報を下ろすことができなかったというのが、ＰＴＡ、育友会のご意見でした。

それは、こちらの大きな手落ちだったと思います。早くにこういう状況ですといった経過報告を皆様にご提示していかないといけなかったところが、一番抜けていたというところで、大きな反省点として捉えております。

先程の後の施設利用については、地域としても今後も継続して使えるようにという要請をしていきたいと考えております。それは今後の検討だと思っております。一つ問題が解決したからと言って、この町の全てが解決しているわけではないので、一つ一つ解決しながら、この中山台が住民にとっても、これから移り住もうと思っている方にとっても魅力のある地域にしていくというのが、一番大事だと思っておりますので、その通過点でのこの問題だと考えております。

まだまだ検討中ということも多いですが、ご意見をいただきながら今後の検討の中で詰めていくべきところは詰めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

これからは検討委員会で、論議をしながら進めていく中で、一定まとまりがあるようなことがあれば、ニュースを発行して皆さんのほうに知らせていこうと前回の検討委員会で話しておりますので、その方向で進めていきたいと思っております。

|  |
| --- |
| ⑧　私は学校に協力する意味で、工作クラブのお手伝いをしています。考えられることは、合併というのは子どもたちの心をどうするかということです。コントロールできるように準備を整えていかないといけないと思います。いくら近いところにあっても違う学校が合併する場合は、子どもの性格をお互いの先生たちが知り合って、合併が上手くいくように努力をしなければいけない。両校を本当に合併するならば、先生たちが交流できるような人事異動が必要ではないかなと思います。子どもたちはお互いをあまり知らない。先生たちも自分の学校の子どもたちの雰囲気を知っていると思いますので、以前から交流しておく必要があると思います。 |

ありがとうございました。大変貴重な意見として、受け止めさせていただきます。これから、今言われましたように校風が違うとか先生方の交流、子どもたち自身の交流は必要だと思っておりますし、その点で教育委員会が果たす役割も大いにありますので、今後の検討を進めていきたいと思います。

|  |
| --- |
| ⑨　今、おっしゃったことは当然だと思います。まず、１回目の説明会の時に、統合ありき、一番早い時には平成32年をという話でしたよね。私は統合の賛成、反対どちらの立場でもないです。反対のように思われることを言っているかもしれませんが、行政のやり方として少しどうかなという思いです。もう少しソフトランディングしてほしい。今おっしゃられたようなことがいくつもあると思います。それと、先ほどの子どもたちの意見を聞くのは微妙だと思います。誰が聞くのか、学校の先生が聞くと大変だろう。それから、中山五月台小学校の校長が今年で退職だと思いますが、この時期に退職される校長を配置している人事はいかがなものかなと。非常に大変ですよ。それから中山桜台小学校の校長は、兵庫県の校長会の副会長です。そういう人事をせずに、ある程度先が見えていたら、県の人事だといえば県の人事でしょう。そういうところは加味できますよね。学校が統合するのかどうするのかという問題を、４、５年は落ち着いて学校教育できるような校長を配置していくべきではないですか、その辺のご意見をお聞かせください。 |

校長先生の人事のお話をいただいたわけですが、まさしく今言われた状況にあります。従いまして退職されるということでもって、この４月から新しい校長先生が赴任することは事実です。ただ、校長会を通じてこの学校規模適正化についても十分意見交換しながら、進めていっておりますし、新しく着任された校長先生にはしっかり情報共有して、進めていけると思っております。先を見通した人事ということについては、今後、考えていかなければならない材料の一つにさせていただきます。

|  |
| --- |
| ⑩　子育て世代にとっては、特に小学校に入る前の子どもをもっていますが、今の現状は宙ぶらりんの状態で、とても不安な状況です。以前に教育委員会に問い合わせをしても、合併の方向で行くでしょうというお話を聞いていましたが、迅速に結論を出していただきたいなという気持ちです。課題もたくさんあると思いますが、不安な状況でもあるので、早く結論を出してほしいです。 |

先程も幼稚園がなくなるということで、その後の通園手段も明らかになっていない。それと今回の学校統合についても、最短で平成32年と言っていますけれども、ありとあらゆる課題もあります。統合という方向性が決まれば、時期等も今後できるだけ早くお知らせしていきたいと思います。ご不安になられるとは思いますので、極力そうならないようにやっていきたいと思います。

|  |
| --- |
| ⑪　中山桜台小学区と中山五月台幼稚園に子どもを通わせています。中山五月台幼稚園には中山桜台小学校に行く子と中山五月台小学校に行く子に分かれてしまいます。保護者と顔を合わすことが多いので、どう思っているか聞いたことがあります。私は中山五月台小学校と分かれずに一緒に行ければいいなといつも思っています。中山五月台小学校の保護者の意見では、ある程度の人数がいる中に入れたいなとお考えの方がいました。小規模校の良さのきめ細やかな対応というところでは、幼稚園でも30人くらいはいるので、それよりも小さい規模の中で6年間過ごす不安の方が大きいのかなと思いました。中山五月台小学校のきめ細やかところとか里山とかも教えてもらい、すごく良さはわかりますが、これから入る方がどう感じるかなというところは、別のところの幼稚園以上の規模を期待されるところもあるのかなと思いました。先程の子どもの意見を聞いてみたのかというご意見がありましたが、自分の子どもに聞いてみたら、人数が増えてクラスが増えると、クラス替えの時に仲の良い子と一緒になれる確率が減ると言っていた。子どもは自分の目先の都合を考えているけれども、その先は見えていないのかなと思いました。子どもだけの意見で決めるのは難しいのかなと思いました。ただ適応能力はあると思います。幼稚園の時はやんちゃでしたが、中山桜台小学校に入り1年生になったら上には上がいるなということを痛感したようで、少し大人しくなった印象があって、自分がどの位置に収まれば過ごしやすいかということが分かったと思います。校風というのもあるとは思いますが。先生方のご負担も大きくなるのかなとか保護者のケアも必要になるのかなとか不安はあります。色々な意見はありますが、中山五月台幼稚園に通わせている保護者としては、昔から別々の小学校に分けなくてもいいのにと思っていた。一緒の小学校に行けたらいいのにという思いが強いです。 |

ありがとうございました。たしかにお子様からご意見を聞くというのは、難しいところがあると思います。そういった意味で一番身近にいらっしゃる保護者の方、あるいは子どもたちを日々見守っている地域の方がどう感じるのかというのをしっかりと受け止めていきたいと思います。子どもに対しては先程もご意見がありましたが、統合後の子どもたちを、周りの大人たち、我々教育委員会の専門部署がどう学校をサポートしていくのか、子どもたちをどう見守っていくのかというのが非常に重要になってくると考えております。そこについては、冒頭でもお話したように教育委員会の中ではそうした体制作りをしっかりとって、新たな環境の中で、子どもたちが不安にならないように、あるいは不安になった時に、手を差し伸べることができるような体制作りをしていきたいと思います。そのための準備期間も十分に設けながら、取り組んでいきたいと思います。

|  |
| --- |
| ⑫　私は中山桜台小学校の保護者です。子どもは基本的に適応能力が高いと思っているので、色々と考えて考えて失敗しながら送り出していけると思います。今、中山桜台小学校でも色々な先生が活動して頑張ってくださっていますが、子どもの目線と先生の目線が合っていない時もありますし、保護者と子どもと先生の意見が合っていない時もあります。ただ中山桜台小学校は先生に丸投げしようと思っている親がいたりいなかったりで、教育は我が家でしましょうという親もいれば学校が教えるのではないのという親もいます。ここで育っていたら当たり前ですが、他府県を見た場合は、制服があり、色々な規約やルールがすごく雁字搦めな学校もあります。それからすると宝塚は非常に自由で良い学校だと思うので、この同じニュータウン内の中山五月台小学校と中山桜台小学校ですから、子どもは順応するのが早いと思います。いじめはどの時代も必ずあると思います。しかし、それはいじめをされていると感じるのかしていると感じているかの誤作動が起きている時に問題が生じますので、それは別で考えることだと思います。宇宙留学は私が提案しました。宇宙留学は1年生から6年生で、日本の生徒がどうしてしたいのかという感想文を書いて、先着順で決まるのですが、種子島では20人学級に対して全国から50人くらい集まってきて、3～4万円のお金を払って、自治体が４万負担するというそういうやり方もありますよということです。子育てをしたことがない方で一度してみたい方はそういう方をホームステイとして預かりたい方もいるのではないかなと思いました。学校教育では今後英語がスタートして、盛んになると思うので、インターネットでは日本語と英語の表記がいるようになると思います。そういう意味で、叶わなくてもそういう意見はどうかなと思って発信しただけです。私は今後、先生のサポートも考えていくべきだと思います。非常に多忙で、雑務が続いて本業の仕事ができていないことがあります。その時にこの地域で長く活動してくださっているボランティアや自治会を活用していったらいいのではないかなと思います。長々と失礼致しました。 |

ありがとうございました。意見として承っておきます。

|  |
| --- |
| ⑬　中山五月台幼稚園と中山桜台小学校に子どもがおります。今日ここに来れない方から意見を言ってほしいと言われて参加しました。中山五月台小学校の方ですが、中山五月台小学校の方でも色々な意見の方がいらっしゃると思いますが、少人数を切実な問題として捉えている方で迅速に統合に向けて進んでほしい。子どもたちは少人数でも仲良くなっていれば何も問題がないという風に捉えているみたいですが、親から子どもの育ちを見ていく中では、やはりもう少し人数が多い方が良いのではないかということで感じておられるようです。先程から話題に出ていましたが、私個人としても、交流事業をしっかりやっていただきたいなと思います。中山五月台小学校の良さはすごくあるので、そこから中山桜台小学校に移るというのが、悲しく感じる子どもたちもいると思います。その痛みを中山桜台小学校の子どもたちにもぜひ分かっていただきたい。そういう意味でも、相互に行き合うような形での交流をやっていただきたいと思います。 |

ありがとうございました。